

**授業概要**

J-POP、ロックなどのポピュラー音楽についてさまざまな側面から考察し、その成り立ちや社会との関係について検討する講義である。20世紀前半から現在までの約100年の音楽を対象とする。音源や映像をはじめ、実例を多く用いながら講義をおこなう。

**授業計画**

第1回	ガイダンス
第2回	ポピュラー音楽を考える視点
第3回	英米ポピュラー音楽史 ロックンロール以前
第4回	英米ポピュラー音楽史 ロックンロール以後
第5回	日本のポピュラー音楽 1920～1950年代
第6回	日本のポピュラー音楽 1960～1990年代
第7回	日本のポピュラー音楽 2000年代～現在
第8回	ヴィジュアル系ロックの諸相
第9回	日本の女性アイドル史
第10回	日本の男性アイドル史
第11回	ポピュラー音楽と楽器
第12回	楽器屋の文化
第13回	ミュージックビデオの歴史と表現
第14回	ポピュラー音楽と音響再生産メディア
第15回	まとめ
第16回	期末試験

**到達目標**

ポピュラー音楽の生産・流通・消費プロセスを理解し、それに対する自らの考えを述べることができる。  
ポピュラー音楽とそれを支えるメディアの関係を理解し、自らの意見を持つことができる。

**履修上の注意**

講義時にコメントシートを配布し、授業の感想や自らの考え、疑問点等を書く時間を設ける（コメントも評価対象に含める）。

授業回の順序を変更する場合がある。

受講生の人数によっては期末試験をレポートに変更する可能性がある。

**予習・復習**

さまざまな音楽を聴き、どのような特徴があるのかを自分なりに考え、まとめておくこと。

授業で紹介した音楽や映像を積極的に視聴し、キーワードとあわせてその特徴を復習すること。

**評価方法**

期末試験（60%）

コメントシートおよび授業への参加姿勢（40%）

**テキスト**

テキストは特に指定しない。

必要に応じて、講義中にプリント配布やスライド投影を行う。

参考書はその都度紹介する。